

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	19-8																																					
PDCA	主要事業名	在宅医療・介護連携推進事業	部課名	福祉部健康課	担当 内線	上原 369																																						
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 3 - 1 - 2 単位施策： 高齢者福祉 全体事業期間： 令和 4 年度 ～ 4 年度 全体事業費等： 401 千円 会計 介護保険事業特別会計 歳出科目： 03.02.02.04.50																																											
	事業概要等	事業概要： 病院・診療所以外の場所において提供される「在宅医療」と自宅等でケアを行う「介護」事業が求められている。相談支援窓口として在宅医療・介護サポートセンターを設置し、市民や医療・介護関係者等とのつなぎ役として、多職種の連携を推進する。																																										
		事業目的： 医療と介護の両方を必要とする高齢者が、最期まで自分らしい暮らしを続けるため、切れ目のない在宅医療と介護の支援体制を構築する。																																										
		事業内容： 医療・介護関係者間の相互理解を深め、在宅療養について市民の理解促進を図る。																																										
		問題点・課題等： 最期まで自分らしい暮らしを続けるためには、市民及び専門職双方に人生についての話し合いを重ねる必要があるが、理解、普及が進んでいない。																																										
	予算額	主要事業とする理由																																										
	401 千円	健康課内に在宅医療・介護サポートセンターを設置し、相談等を受け付け、連携調整、情報提供を行っており、本市の在宅医療・介護連携を支える主要な事業である。																																										
	財源内訳	得られる成果																																										
	市費	在宅での療養が必要となったときに自分らしい選択をすることができる。																																										
	126 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値や目指すべき状態</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">在宅ケア推進地域連絡協議会の参加延べ人数</td> <td>実績値</td> <td>158</td> <td>112</td> <td>—</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>600</td> <td>300</td> <td>300</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					目標値や目指すべき状態		令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位	在宅ケア推進地域連絡協議会の参加延べ人数	実績値	158	112	—	人	目標値	600	300	300	人		実績値					目標値						実績値					目標値			
目標値や目指すべき状態		令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位																																							
在宅ケア推進地域連絡協議会の参加延べ人数	実績値	158	112	—	人																																							
	目標値	600	300	300	人																																							
	実績値																																											
	目標値																																											
	実績値																																											
	目標値																																											
198 千円																																												
国費																																												
77 千円																																												
県費																																												
0 千円																																												
D 実績値 得られた成果と	決算額	得られた成果																																										
	342 千円	- 在宅ケア推進地域連絡協議会は医療・介護職が参加しやすいWeb研修や少人数制で開催できた。 - 半田病院と協働し公民館3か所在宅医療啓発市民講座を開催し終末期への市民ニーズが把握できた。 - 専従看護師の確保や広報により在宅医療・介護サポートセンター相談・対応件数が増加した。																																										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果指標</th> <th>令和4年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">在宅ケア推進地域連絡協議会の参加延べ人数</td> <td>実績値</td> <td>208</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>300</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					成果指標		令和4年度	単位	在宅ケア推進地域連絡協議会の参加延べ人数	実績値	208	人	目標値	300	人		実績値			目標値				実績値			目標値															
	成果指標		令和4年度	単位																																								
	在宅ケア推進地域連絡協議会の参加延べ人数	実績値	208	人																																								
		目標値	300	人																																								
		実績値																																										
		目標値																																										
		実績値																																										
		目標値																																										
事業の評価・課題	C - 利用促進のためにサポートセンターが在宅療養に関する身近な相談窓口であることを周知する。 - 専従看護師がつなぎ役となり、在宅医療や介護の多職種連携を推進できた。 - 在宅医療と介護の相互理解のため、研修会や検討の場を定期的に開催できた。 - もしもの時の過ごし方を自ら考えて家族など身近な人と共有するアドバンスケアプランニングをさらに普及する。																																											
A 課題の今後の決方向性	今後の事業の方向性	改善推進 - 高齢者に限らず若がん末期患者など幅広い年代の在宅療養の相談に応じる。 - 定期的相談日を設けて市民がより相談しやすい環境を整える。 - 市民の個別相談に対応しながら在宅医療や介護の課題を把握する一方、在宅ケア推進地域連絡協議会等にて課題を共有し多職種や関係機関でその対策を検討する。																																										
	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																						
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減	ある																																					
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	余剰	※手段の変更																																					
		③廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余剰	ない																																					

目標項目（予算計上時に作成）

予算見積書で活用

評価項目（決算時に作成）

主要施策の成果報告書で活用